

かぞへ

公立羽咋病院広報誌 2012 第38号



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

は く い
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/> E-mail:hakuihsp@po.incl.ne.jp

耐震増改築工事を行っています

公立羽咋病院では、総事業予算1,077,880千円で平成23年11月から耐震増改築工事を行っています。国庫補助金を利用して管理棟耐震化整備を主目的としています。平成25年12月に工事終了予定で、完成すると羽咋病院全棟耐震化になります。

皆さまには何かとご不便をお掛けすることと存じますが、次の点にご協力くださるようお願いいたします。

- ①工事車両等には十分ご注意ください。
- ②来院される方は、これまでと同様に病院正面の駐車場をご利用ください。
- ③救急処置室と外科の仮設場所は、正面玄関入って右奥になります。

この工事で次の点が変わります。

- ①管理棟が新しく2階建になります。
- ②災害拠点病院として備蓄倉庫を整備し、簡易ベッド等を備えます。
- ③病床数は、現在の190床から174床に減少しますが、1床当たりの面積を広くし、より良い療養環境を目指します。また、病棟が4病棟から3病棟体制になり、各病棟に食堂ができます。

工事の予定（変更する場合があります。）

工程	工事期間	工事概要
1	23年11月～24年8月	仮設工事（外科、救急処置室（既設を撤去）） 増築工事（1階～救急処置室、形成外科、皮膚科、眼科及び泌尿器科 外来、災害倉庫、2階～病棟、手術室、3階・4階～病棟） 改修工事（既存2、3、4階 ナースセンター廻り）
2	24年9月～24年10月	改修工事（既存2、3、4階病棟など）
3	24年10月～24年12月	改修工事（2階東病棟の機能を新病棟移転後、管理部門に）
4	25年1月～25年3月	撤去工事（管理棟閉鎖後）
5	25年4月～25年10月	増築工事（新管理棟）
6	25年10月～25年12月	外構工事（新管理棟付近）

問い合わせ先 公立羽咋病院 総務課管理係 TEL 22-1220
総務課総括主幹 木村 秀樹



平成23年度 公立羽咋病院改革プラン評価委員会

公立羽咋病院改革プランの進捗状況について、点検・評価等のため11月17日に委員会が開催されました。平成22年度の実績は、純利益22,426千円、経常収支比率100.9%（16年連続黒字経営）であり、平成23年度上半期の実績は、計画に対して経常収益53.05%、経常費用51.52%、経常収支比率103.2%でした。

【収入の増加・確保対策】

◆医師の確保対策

研修医の受け入れや地域医療を担う医師養成に対する支援や地域医療確保のために活動を行う石川県地域医療支援センターへの協力を引き続き実施。

◆看護師・医療技術職の確保対策

- ・1年間を通しての募集活動（随時募集）
- ・看護師等修学資金貸与条例の活用推進（H23.4から施行）。

◆患者の確保対策

患者満足度調査（外来）や退院時のアンケート調査（入院）を実施し、職員の接遇の向上を進めるとともに外来を改修し、よりよい環境の整備を実施。また、患者の利便性を考慮し、公共の交通機関が十分に確保されていない地域へ毎週金曜日1往復送迎ワゴンを試行運行。

【費用の削減・抑制対策】

◆施設管理について

- ・中・長期計画でリニューアル等実施。
- ・国庫補助金を利用して、管理棟耐震化整備の実施設計を平成22年度中に作成し、平成23年度より工事を実施。

◆光熱水費の削減について

職員への周知とエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき中・長期計画で実施。

◆材料費の削減について

収入に比例して増減するものであるため削減有無は判定しにくいですが、単価交渉により、出来る限り安価で購入するとともに画像ファイリングシステムの有効活用により画像記録用フィルムを削減（フィルムレス化）。

【経営形態のあり方】

◆平成23年4月 地方公営企業法の全部適用

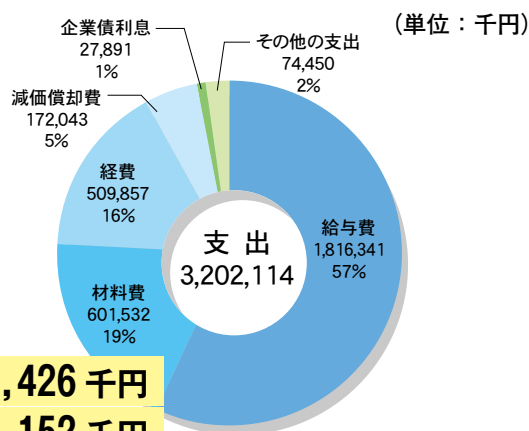
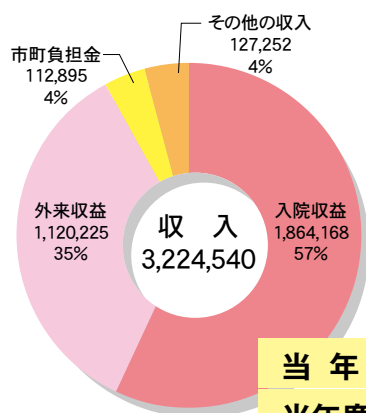
以上、平成22年度及び平成23年度上半期の業務実施報告や工程表の進行状況などの説明が行われ、委員会からはおおむね良好との評価を受けました。

総務課参事 荒木 孝平

平成22年度決算のお知らせ

平成22年度病院事業の決算について、ご報告申し上げます。

収支状況



当年度純利益 22,426千円
当年度末累積欠損金 102,152千円

利用状況

区分	年延数	1日平均	1人1日当たり収入	病床利用率
入院	52,934人	145.0人	35,217円	76.3%
外来	122,061人	457.2人	9,178円	

花粉症対策について

耳鼻咽喉科医師 山田 奏子

日本人の約25%がスギ花粉症といわれており、もはや「国民病」と呼ばれるほどです。年々増加しており、昨年まで症状が無かった方も突然発症することがあります。一方で一度発症したら自然治癒はまず見られません。

花粉症は、花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応です。くしゃみや鼻水で体外に花粉を排泄しよう、鼻づまりで防御しようとする。これが花粉症の症状です。原因となる植物は、スギだけでなくヒノキ、ブタクサ、イネ科の雑草など多数あります。飛散時期はそれぞれ異なりますが、スギは2月中旬から3月下旬です。花粉症が重症になると、鼻や眼症状に加え全身倦怠感などの全身症状がみられ集中力低下などがおこり、仕事・勉強・家事に影響を与え生活の質を低下させます。ではどのように花粉症対策をとればよいか、説明していきます。

診断を受ける

くしゃみ、鼻水、鼻づまりは花粉症の典型的症状ですが、原因としてダニなどの通年性アレルギー性鼻炎の場合や風邪の初期症状のこともあります。まずは診断を受けることが花粉症対策の第一です。

情報収集

今季はどれだけ花粉が飛ぶのか、飛散量はいつごろピークかなど情報を的確につかむことで対策を立てやすくなります。気象情報・花粉情報の入手を行いましょう。石川県医師会のホームページでも公表されています。



セルフケア

花粉症の症状を軽減するのに大切なのは、体内に花粉を入れないことです。花粉飛散が多い時間帯の外出をなるべく控えましょう。マスク・メガネ・帽子は、花粉が体に触れないようにするのに役立ちます。洋服は花粉の付きにくい表面がすべすべしたものを選びましょう。付着した花粉を吸い込んでしまうのを防げます。また家に花粉を持ち込まないことも重要です。帰宅したらうがいや洗顔を行い、玄関でしっかり衣類についた花粉を落としましょう。また窓を開けない、洗濯物を外に干さないなどの注意も必要ですし、掃除も重要です。

治療する

花粉症の症状が出る前、花粉飛散の約2週間前より内服を開始することを『初期治療』といいます。症状出現前に内服を開始することで発症を遅らせたり、花粉症の重症化を防いだりすることができます。

薬には第2世代抗ヒスタミン薬が主に用いられます。花粉飛散数が多くなり症状が増悪してきたらステロイド点鼻薬、また一時的にステロイド薬の内服、即効性のある第1世代抗ヒスタミン薬などを使うこともあります。また漢方薬を用いることもあります。

花粉症の薬による副作用で一番問題になるのが眠気です。副作用の出現には個人差があります。ご自身の症状、生活様式、職業などを相談し、同じ働きを持った薬でも様々な種類がありますので、自分に合う薬を見つけることが必要です。



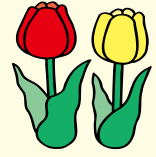
生活の改善

一般的なことですが睡眠を良くとること、生活習慣を保つことは、免疫機能を保つために重要です。感冒や喫煙、飲酒は鼻粘膜に炎症を起こし、花粉症を悪化させてしまいます。

民間療法

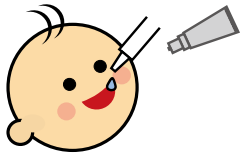
甜茶、ヨーグルトなどが花粉症を和らげると言われていますが、その効果は明らかになっていません。

平成24年のスギ花粉飛散量は多かった昨年と比べると例年通り、2月中旬飛散開始と予想されています。今季は早期から対策を万全に！！そして軽やかに春をお過ごしください。



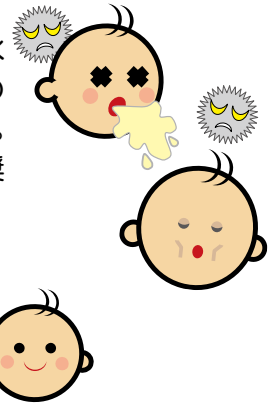
ロタウイルス胃腸炎の予防ワクチン接種

白っぽい水のような下痢や激しい嘔吐が特徴的なロタウイルス胃腸炎は、脱水を起しやすくけいれんがみられることもあるため、最も重症化しやすい乳幼児の胃腸炎です。身体が小さいうちに感染すると入院が必要になることもあります。小さな赤ちゃんを守るためにWHO（世界保健機構）などでワクチン接種を推奨しております。



- 接種対象期間：生後6週～24週まで
- 方法：シロップ状にした生ワクチンを飲む

詳しくは羽咋病院小児科までご相談下さい。



連携医療機関のご紹介

父親が開設した池野病院を引き継ぎ28年目です。整形外科、リウマチ科、理学診療等のリハを専門に診療をしています。「かかりつけ医」として病気の相談や診察・治療、往診・在宅診療はもとより、住民健診、予防接種、産業医、学校医、警察医、健康スポーツ医等、父のしていた地域のための医療を引き継ぎ行っています。開業医の仕事は病院勤務医と違った忙しさがありますが、反面、地域の人々との温かい交流も得られます。

2年前から無床診療所になりました。無床では時間外の患者さんの診療が思ったほどできません。要するに医者一人では、たいして仕事ができないということです。今更ながら有床診療所の機能の高さを痛感しています。

逆に、無床診療所になってから羽咋病院の開放型病床に入院しておられる患者さんの顔を見る時間が出来ました。もっとも、慣れない電子カルテの操作で看護師さんの仕事の邪魔をしているようで恐縮していますが。

かかりつけ医の大切な仕事の一つは、病気の相談・診察・検査等の結果、問題がある患者さんを適切な二次医療機関・専門医に紹介する事です。この作業がスムーズに行くためには、基幹病院の存在が非常に重要です。当地では羽咋病院がその重要な機能を担っておられますが、精査・入院・手術等が必要な患者さんをいつも引き受けていただき、たいへん感謝しています。これからも当院は1次医療機関としての機能や責任の一端を担い、地域住民の為に頑張っていきたいと思っています。

池野 晋

羽咋池野整形外科医院

住 所 羽咋市南中央町3
電 話 22-0254
診療科 整形外科



病院被災時訓練を行いました

11月15日（火）当院において、羽咋地域を襲った地震の為、当院耐震増改築工事中の重機の転倒等により、断水と停電が同時に発生したとの想定で訓練を行いました。

今回の訓練は、当院が断水・停電し、2系統ある発電機の片方の機能が十分に果たせない状況で、入院患者様及び診察中の外来患者様を安全に避難誘導（移送）をする事を主目的に実施しました。

患者避難についてはマニュアルに従い、入院患者様は透析棟に避難し、外来患者様も同様に透析棟に誘導しました。



入院・外来患者様の中で自ら動くことが出来ない方はストレッチャー移送が一般的になっていますが、停電でエレベーターが使えない状況から、患者様の移送はシーツや担架等を活用してのもっぱら人の力に頼らざるをえず、改めて訓練の大切さを実感しました。

これまでは、羽咋地域は大災害とは無縁であったと言われてはいますが、平成23年3月11日東日本大震災を教訓に、当院の被災時の備えを検証し災害拠点病院として災害に強い病院を目指すと共に、技術の習得に努め羽咋郡市広域圏域住民の要望に答えていきたいと考えています。

災害対策委員会

やすらぎコンサート

1階情報プラザ前ホールにて11月17日（木）西川 克司さんと大野 博さんによる管楽器・ファゴットによる二重奏の演奏がありました。秋の調べを中心に、「赤とんぼ」や「里の秋」等10曲あまりが演奏されました。ファゴットにあわせて患者様をはじめ多数の方が歌を歌って下



さいました。

12月12日（月）は白百合幼稚園の年長さん19名によるハンドベルの演奏と歌がありました。少し早めのクリスマス気分で、愛らしい天使のような子供達を見る患者様の目も優しい表情になるのがわかりました。



ありがとう ごさいます

♥ なぎさ表紙絵手紙
辻口 敦子 様

♥ 写 真
羽咋写真協会の皆様

♥ 絵 画
羽咋美術協会の皆様

♥ 俳 句
宝達志水町若輩会
岡部 和子 様 他

♥ 園児の絵
とき保育園
こすもす保育園